

2022/02/10  
新報国マテリアル株式会社

# 2022年度 経営計画

勝負の年！！

みんなの力を結集して、新しい芽を育て、  
明日の基盤を確立しよう



新報国マテリアル株式会社

Shinkoku Material Co., Ltd.

# 【目次】



1. 【損益と財務状況】
  - 1-1. 損益
  - 1-2. 財務状況
2. 【2022年 販売見通し】
3. 【2022年 重点施策】
  - 3-1. 新製品の拡販
  - 3-2. 競争力強化
  - 3-3. 新製品開発
4. 【人材育成】

# 1. 【 損益と財務状況 】



## 「損益」

(単位＝百万円)

	2021 実績			2022 計画		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	1,899	2,762	4,661	3,000	3,000	6,000
営業利益	134	248	382	300	200	500
経常利益	168	266	434	300	200	500
当期純利益	116	207	323	210	140	350
1株利益	35円	61円	96円	62円	42円	104円
配当	15円	※25円	40円	15円	15円	30円

※商号変更記念10円含む

## 「財務状況」

(単位＝百万円)

区分	2021期首	2021期末	2022期末計画
総資産	6,518	6,966	7,170
自己資本比率	65%	64%	65%
現預金	3,051	2,550	2,700
借入金	1,575	1,515	1,500

## 2.【2022年 販売見通し】



主力の半導体およびFPD(有機EL・液晶)製造装置向け低熱膨張合金は、コロナウィルス感染症による巣ごもりやオンライン化、IoT機器や5G高速通信の本格普及、更には世界的な半導体不足による加速度的な需要増で、2021年下期から回復した設備投資向けが、2022年も堅調に推移するものと思われます。

また上記の半導体・FPDの需要増に伴い、各種ウエハ向け研磨機関連も受注増加となる見込みです。

中長期視点においても、電気自動車(EV)、自動運転、人工知能(AI)、デジタル変革(DX)、大規模データセンターおよび3D仮想空間(メタバース)など、IT関連含む新たな市場が牽引役で今後も成長トレンドが続いております。

シームレスパイプ用工具の販売は、脱炭素や原油価格の動向に注視を必要としますが前年並みを見込んでいます。

ゴミ焼却炉向け耐塩素開発合金「EGNIS」は、複数拠点での実機試験が完了予定で、その後本格的な拡販普及期へ移行させる計画です。

### 3. 【2022年 重点施策】



本年は売上・損益とも堅調に推移する見込みではありますが、次の飛躍へ向け基盤をつくる勝負の年と考えております。そのために、更に徹底した技術向上、新製品の拡販、人材育成に注力していきます。

#### 3-1. 新製品の拡販

##### ①ゴミ焼却炉向け耐塩素開発材「EGNIS」

= 中間処理施設5ヶ所での実機評価、2022年3～9月完了予定  
→ 評価実績を携え本格的な拡販普及期へ移行

##### ②バイオマス発電ボイラ用炉底エアノズル

= 成果が得られたダイレクトメールPR広告の第2弾を計画  
→ ターゲット数十拠点へ送付予定

### 3. 【2022年 重点施策】



#### ③ 金属3Dプリンター活用による粉末成形品

- ・3Dプリンター開発強化のワーキンググループ発足
- ・2021年、産業機器メーカーの開発機向けに試作品を出荷済み
- ・粉末冶金の権威を顧問として招聘
- ・JAXA宇宙探査イノベーションハブ、採択案件の共同開発を開始

#### ④ CFRP金型

- ・2021年、次世代の量産技術であるプレス成形の試験金型を評価中
- ・空飛ぶクルマなどの次世代飛行体向けへ展開する

#### ⑤ 宇宙／天文

- ・「宇宙・硬X線 望遠鏡」向けCFRP金型  
＝理化学研究所および国立大学で[IC-ZX]試作評価中
- ・「ハワイ／すばる望遠鏡」、「チリ／TAO望遠鏡」  
＝多天体分光装置にゼロインバー[IC-DX]、2022年内に評価完
- ・継続中の評価案件  
＝「超大型望遠鏡(TMT)」、「天文科学衛星(小型JASMINE)」  
「次世代宇宙重力波(基礎研究)」

# 3. 【2022年 重点施策】



## 3-2. 競争力強化

### ① 品質

- ・ 鑄造シミュレーションシステムの更なる高精度化
- ・ 協力会社の品質管理強化

### ② コスト

- ・ 特殊成分設計と独自管理によるプロセス開発
- ・ インバー合金／溶解工程の時間短縮

### ③ 納期

- ・ 多能工化による人員フレキシブル(柔軟)化で臨機応変な生産対応
- ・ 増産対応＝部署内作業負荷の平準化

# 3. 【2022年 重点施策】



## 3-3. 新製品開発

- ①低熱膨張合金（インバー合金）
  - ・低コバルトインバー
  - ・超快削インバー
  - ・高強度インバー合金 1000MPa級
  - ・非強磁性インバー合金
  - ・高ヤング率Ni-Co-Xインバー
- ②金属3Dプリンター活用による粉末成形品
- ③耐塩素合金「EGNIS」のバージョンアップ
- ④制振合金
- ⑤ガラス用途高温材料



## 4.【人材育成】



- ① 博士号取得者＝(2022年予定) 6→8名
- ② 知的財産教育(特許出願)
- ③ 階層別教育訓練
- ④ 管理者教育の実施

---

本資料に記載されている業績予想・計画ならびに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および、将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定、を前提としています。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますのでご理解頂けますようお願い申し上げます。